

第73代岡山県議会副議長

# 太田まさたか

おた



県政だより  
発刊50号

プロフィール

昭和39年生まれ 58歳

〈役職歴〉土木委員会委員長、農林水産委員会委員長  
総務委員会委員長、県監査委員

(選挙区)岡山市北区・加賀郡

## 県政だより

 令和4年秋号 VOL.50

編集責任者:太田正孝 岡山市北区延友455 TEL.(086)201-5523

安全安心!

政策一体化!

地域連携!

県政だより発刊五十号となりました。これまで太田正孝の議員活動に對しまして温かいご理解ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和四年五月に岡山県議会副議長に就任していただきまして、「県政の仕切り」、「県当局との調整」、「他の県議会との連携」をはじめとする様々な仕事に對して、責任の重さを感じると共にやりがいを持って取り組んでいます。こうした活動ができますのも、ひとえに皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。

さて、厳しくなる社会情勢の中で、事態を好転させてほしいとの政治への期待は増しています。

それでは県庁はどうなのか。

県庁職員の皆さんも常に真面目に一所懸命に仕事をしています。しかしながら、県民の期待値とはまだ隔たりがあります。とくに、自然災害への備え、災害時の対応、新型コロナウイルス感染症への対応などの危機管理面です。危機管理では、行政の縦割りを超えた柔軟な且つ迅速な動きが出来るようにしておくこと、そして、何かあれば、躊躇なく対応することは政治指導者の責務です。今、こうした課題こそ、政治のリーダーシップが求められています。

岡山県議会議員  
太田 正孝

また、地方創生においても、空き家対策、農業の担い手づくり、コミュニティバスの運行、無医療地区の解消などの地域課題に對してもテーマ毎に解決策を探ってみて、地域力の低下に歯止めがかかっていません。全体のことを考へて行く総合行政が求められていると考えています。そのためには政策の一体化が必要です。ここでも政治が機能しなければ、改善できません。

そして、本県の中四国の要衝というポジションを活かせば、中四国の域に留まらず、関西圏、東アジアなどとの連携も可能なはずです。また、河川改修、倉敷駅鉄道高架などの各地域の課題についても方向性もはっきり打ち出すべきです。

もう先送りを良しとせず、「決断する政治」で岡山県の方向付けをしつかり行い、誰もが暮らしやすい、働きやすい岡山県を創っていきます。

何卒私の議員活動にご理解ご支援を賜りますようによくお願い申し上げます。

### 県当局提出議案から

#### 定年延長の条例案を可決

九月五日に知事部局職員定年延長条例案が提案された。岡山県庁職員の定年を現行の六十歳から六十五歳に引き上げるもので、一度に五歳引き上げられるのではなく、二年に一歳上げる方式を取る。また、六十歳以降の給与については七割程度となる(詳細には各職員の級数や号数によって異なる)。このあたりが誰もが関心を持つところであるけれども、もちろん他の点も詳細に整理されて案としてまとめられている。

この説明に對して、総務委員会で私は何点か質問をした。趣旨をお伝えすると、  
・生涯賃金はどう変わるのか?  
・役職定年はどうなるのか?若手のポストについてはどうして行くのか?  
・職員への意向調査はどういう日程で行うのか?

・モデル年齢を設けて、そのモデルの年収を県民に知らせてほしいなどというものであった。しかし、回答は丁寧なものだった。しかし、個々によって異なることと、議論は深まらなかった。これからモデルケースでどうなるのかなどデータが出てくるものと受け止めた。こうした議論の結果は民間企業にも関係したり、影響したりすることである。

九月八日に三党派による代表質問が行われた。様々な質問が出る中で注目したのは、自民党の企業誘致に関する質問。現在、岡山県は市町村の産業団地整備を支援する立場を取っているが、誘致する区画が少なくなっているのが現状だ。

#### 代表質問から 産業団地造成は 誰が進めるべきか?

今回の答弁では、これまでの方針を強化するというものであった。要するに、「市町村が産業団地を整備する」という基本は変えないということである。

#### 一般質問から

#### 河川管理への 住民協力にも限界がある

九月十三日から一般質問が始まった。初日に二人の議員が取り上げた「アダプト制度」の件を報告する。そもそもアダプトとは何か?という方も多いかもしれない。和訳すると、「養子」ということ。自分達の地域の河川やため池の草刈りなどを自分達の手ですることについて、岡山県ではアダプト制度と呼んでいる。

#### 九月十六日の 追加補正予算案も可決

開会日に二十一億四一〇万円の九月補正予算が提案された。続けて、九月十六日に総額一六五億二三〇〇万円の追加補正予算案が提出された。追加分の方が随分大きい。その中で大きなものは新型コロナウイルス対策の病床確保費一二七億



#### 議長役をして

岡山県議会一般質問四日間の内、三日、六人の質問の議長役を務めさせて頂いた。一問一答方式、一括質問の両方式があり、前者の方式を採る質問者は時間配分を工夫されていた。また、後者の方式を採る質問者では、最初の答弁ポイントを押さえて、的確に再質問をされていた。質問者はこのように立派なのだが、私の頭の中で議事進行の失敗をしたらどうしようかとの不安でいっぱい、円滑な進行とはまだ

言い難いものであった。次回定例県議会ではもう少し良い議事進行をしたいと思います。

さて、今回の一般質問では岡山市と岡山市で見解の相違となっている点が頻りに取り上げられた。なかでも、建設事業費市町村負担金の問題を取り上げる議員が複数いた。取り上げる背景として、県事業に対する地元市の負担が大きいとする意見が出ていた。それを受けて、県議会議員から、県当局はこの件に関してどう対応しているのかという点について、角度を変えながら、次々と質問が出された。

県の回答を聞くと、両者の間には地方財政法の解釈について隔たりがあることが理解できた。相互の理解が近づけられるようにと努力をお願いしたい。また、その手続きも、「より適切になるように」検討している」との回答があったが、ここについては県議会とも大いに関係するところがあるので、県議会にもしつかり説明していただきたい。

総務委員会から

不具合が多い起震車について

岡山県議会総務委員会で、二度、県所有起震車（地震体験車）の件が取り上げられた。起震車は地域や会社などで地震を体験することができる車両である。この起震車について、車両本体か電源か何かの問題で、調子が悪いのかと、何とかすべきではないかと、議員から問題提起が



議長役をしている様子

あった。この時は、県当局が調査して、次回に説明することになった。

そして、次回の日が来て、県当局から調査結果が丁寧に説明された。私もその説明に対して起震装置の電源等気になる点があったので、その点を取り上げて、問題点を早期に改善してほしいことを要望した。

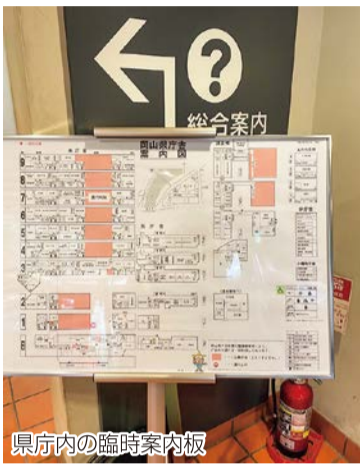
ところで、岡山市も起震車を所有している。岡山市の起震車について聞いて合わせてみた。購入は平成二十八年で、その前の車両は約二十年間使用したそうだ。購入費は三千万円強。電源は車両に搭載されている発電機となっている。ちなみに、県所有起震車の使用年数は十四年で、発電機は搭載されていない。今の車両は宝くじから助成をいただいで購入していて、買い換えるには財源を見つけないといけない。

県庁の動き

県庁本庁舎の案内板について

約一七〇億円かけて行われている耐震化工事中の岡山県庁舎の入口が分かり難いとの県民の声を受けて、県当局が改善を図った。県庁北側の県庁通り面した防音壁の何箇所かに「入口になっている箇所」を示す地図が貼り出された。この地図を見ていただくと、県庁に入る経路が分かるようになった。

また、本庁舎内もしばしば引越が行われ、案内図が頻りに交換されている。まだ工事が続くので、ご迷惑をおかけすることになるが、しばらくの間、利用者皆様のご理解ご協力をお願い致します。



県庁内の臨時案内板

福祉トイレの導入が進められている

千葉県教育庁は、県立学校のトイレを全て洋式化して行く方針を打ち出し、二〇二二年度予算では九七五〇万円の予算を計上している。改修内容については、床のドライ化、天井・壁の張替、洋式化、手洗い設備更新などを挙げている。

それでは、岡山県教育庁の取組はどうなのかということが気にかかる。問い合わせをすると、本県も計画的に改修していて、ここ二、三年は改修された学校数も増えていると教えて頂いた。こうした話を聞くと、すぐに現場に行かなくてはとの思いがして、早速に県立学校を訪ねた。最近改修したもの、少し前にしたもの、和式のままな多様な状態のものを見ることができた。計画を立てるまでは簡単だが、現場に行くとも、やっぱり全部の改修は大変である。また、このところの物不足、物価高騰などで県立学校の長寿命化計画の進捗が遅れ気味になっていて、トイレの洋式化にも影響がでていると伺った。現状を知る上で、今回の現場の見学は有意義なものであったが、これから先に、岡山県教育庁ともっと協議をせねばならないとの思いを強くした。



太田正孝の主張

未来へのリスタートを切る  
— 未来を変える選択を —

今、私たちの関心は将来がどうなるのかということにある。日本の経済はアベノミクスで安定してきたものの、十分なGDPの伸びが出る前に、新型コロナウイルス感染症の発生。については、政府は大型予算を編成し、国民の生命とくらしを守ることに取り組んでいる。その対応は新たな感染の波が来る毎に進化をし、経済活動も元に戻りつつあるかのように見える。

2 地球と経済システムとの調和、DXの活用

持続可能な発展を見据えた取組が活発化されている。例えば、情報技術の進展によって、音楽鑑賞の分野でのCDから音楽配信サービスへ切り替わっていった。また、物流分野での在庫管理の徹底や物流経路の最短化等が行われている。こうした動きを拓ける為

4 若者の挑戦機会の拡大

・若者の成長こそ、社会の発展に結びつく。若者にもっとチャンスがある社会に変えることが必要である。については、  
・職業教育の充実  
・男女格差の解消  
・結婚の応援、子育て支援、教育費の負担軽減  
を推進する。

5 意識することの習慣化

意識が無い所には、社会を動かす力は生まれてこないとの認識のもと、意欲あふれる社会を創る。については、若者に意欲が湧くような「意識する習慣」を身に付けられる教育プログラムを作り、実行に移す。

3 思考力の強化と社会が求める人材育成

定着し始めた岡山県の子どもの学力を「生きぬく力」に結び付けて行く。そうするには、暗記を学習のゴールとはせずに思考力を重要視するべきだ。この思考力とは、「より多くの真実」に惑わされずに、物事の本質を見つけ、解を創り出す力のことである。ついでに論理的思考を身に付ける教育などにも注力し、文系、理系の枠を超えた人材の育成を図る。

6 みなさんの思いを政治に

政治は最高の道徳と言われながら、ロシアによるウクライナへの侵略は「政治には破壊力もあること」を改めて私たちに見せつけた。そして、新型コロナウイルスが拡がり、三年にもなるが、政治が必ずしも機能しているように見えないうちの意見も多数伺っている。世界は大きな分岐点にありながら政治がモタモタすることは許されぬ。みなさんの思いを政治に反映していくことを約束する。

1 「バランスの取れた情報収集」と「多くの人との情報共有化」

過大な情報によって、真実が見え難くなっています。物事の本質を掴むために、  
・自分にとって不都合な事実から目を背けることを止めること  
・情報技術を活用して、仕事の効率化を図りつつ、沢山の人の知識の共有化を図ること  
を推進する。



ひなせうみラボ(備前市)

七月十二日



備前焼再生のマグカップ等が商品として並べられていた。粗葉を使わない備前焼だからこそ、使われなくなっただけでなく、一度焼けた備前焼をもう一度焼

き直すことができるのだ。この特長を活かして日常で使えるマグカップ等に再生させたものを、備前再生シリーズと名付けている。この取組は今の時代に求められていることである。備前焼の新しい良さが皆さんに伝わればと願っています。

スマート専門高校の取組

(岡山工業高校) 七月十三日

百二十年の歴史を誇る岡山工業高校は「スマート専門高校」の実現(デジタル化対応産業教育装置の整備)に指定されていて、この度、五軸のマシニングセンタ、最新の精留装置等が設置された。高校生にはこうした最新のものに触れてもらい、好奇心を高めていくことを期待する。また、鍛造の学習をする場面も見学させていただいた。学校で旋盤や溶接、測量等基本的な技術を高校生の時に身に付けて欲しい。今回、進路についても、状況をお聞かせいただいた。就職、進学ともに、素晴らしい実績で、国公立の大学に多くの合格者を出し、県立では全国三番目の成績であるとのことであった。



五軸マシニングセンタ



精留装置

清水白桃の出荷進発式

(宮中央選果場) 七月二十日

今年は日照時間が十分にあったので甘みがしっかりあるとのことだった。実際に口にすると、清水白桃は格別のおいしさでした。



「おかやま酪農業協同組合」創立二十周年記念式典

(津山市) 七月二十二日

平成十四年に岡山県下四つの酪農専門農協の合併により発足した協同組合の皆様から、リーマンショックなどで労苦が多かったことを聞いた。そして今コロナ、円安、ウクライナ危機により、経営環境が厳しい状況にあることをお話しして下さった。挨拶の機会をいただいた私は、私たちの食卓に牛乳、乳製品が安定して届くようにしていくように酪農家の支援に力を入れていきますと約束した。



ドライビングシミュレーター挑戦

(岡山県警本部) 七月二十六日

シミュレーターの三面面を見ると、前方、バックミラー、左右サイドミラーを見ることが出来るようになっていた。

もちろん、アクセルペダルとブレーキペダルがあり、両ペダルとハンドル操作をして運転をする。短時間にヒヤリ感が出てくると、ビビってアクセルがなかなか踏めない。停車中の大型トラックのドアが開いたり、子どもの飛び出し等があつて、慌ててしまった。これらは実際にも起こることばかりで、もつと気を付けてハンドルを握りたい。



創志学園高校の高校野球岡山県大会優勝報告

(岡山県庁) 七月二十七日



長澤宏行監督、横井寿海主将、金田恭太副主将らの県知事訪問に県議会代表として同席した。そこで、今回の三年生の一年生からこの度の決勝戦までの戦いぶりが学校の野球部長から報告があつた。

最初の二戦は敗戦から始まり、今回、最高の結果を出したとのことであった。コロナの二年半の中で、厳しい練習をしてきた成果が出たに違いない。長澤監督は今回の甲子園が最後とすることで、選手の皆様も監督を喜ばしたいとの気持ちが言葉の端々にあつた。

プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦「阪神ー広島」

(マスカットスタジアム) 七月二十九日



約七千人の観衆が集まった。ゲームは一軍で活躍していた阪神の秋山投手が先発。二軍の試合と思つて行ったが、内容は全然違つた。素晴らしい投手戦となり、どちらの投手も譲らない。阪神が先制点を許す。広島は遠藤投手は八回までノーヒットノーランのピッチング。広島の守備は一度乱れたものの、その後は堅い守備。九回の抑えの外国人投手もヒットを許さなかつた。すごい試合を見せていただいた。両投手におかれては、一軍で活躍する姿を早く見たいものである。そして、今度はマスカットスタジアムで二軍のゲームを見たいというのが、多くの県民の声である。県当局は軍のゲームを誘致したいと頑張っており、県議会からも引き続き応援していく。

宮内踊り奉納大会

(吉備津神社) 七月三十日

三年ぶりに盛大に行われた。浴衣の子どもの姿が多くあり、この日を楽しみにしていたことが伝わってきた。会場では、主催者から会場の飲食を控えるように案内がされていく。例年のように何もかも出来る夏祭りではなかったが、夏休みに友人に会えて、その喜びがみんなの顔にしっかりと表れていた。



第三セクターしなの鉄道

(上田市) 八月三日

第三セクターしなの鉄道は二〇二三年三月期の単独最終赤字が新型「コナウィルス」のため五億円強となり、



国、県、関係基礎自治体は補助金を支出して、赤字幅を千万円台することになった。それでも、今の状況が続くと、経営内容はさらに悪化するとの見通しも公表している。



TVドラマの舞台になった無言館を訪問

(上田市) 八月三日

無言館は、戦争で亡くなった美術学校の学生の作品を集めた美術館である。場所は長野県上田市の人里離れた森の中。建物は打ちっ放しのコンクリートで出来ている。扉を開けると、裸婦や肖像画、風景画などさまざまな画が二定の間隔をおいて配置してある。その横にある作者のプロフィールや作者の召集令状などを見ると、どんな思いでこれらの画を描いたのかわかると少ない知識で想像してしまう。胸がとても痛んだ。この館の画について、オーナーは流石の画ばかりでないと話し、続けて、ここに掲げられると思つて描かれた画は一枚もないと言葉を漏らした。彼らの画を見ながら、彼らの重い思いを感じざるを得なかつた。そして、戦争について今一度考える大きな機会となった。



駒ヶ根テレワークオフィス

(通称KOTO) (長野県駒ヶ根市) 八月三日

駒ヶ根市は昔から企業誘致が盛んで、養命酒の工場や日本電産の工場などがあり、製造業に従事している人が多いまちである。ここでは女性たちから事務職を増やしてほしいとの声が多く聞かれ、そうした職種も作るとうとしてこのKOTOが設置されたのだ。このKOTOで行っていることは、テレワーク可能な業務を受注し、KOTOに登録している人に発注をし、その管理を行うこと。本社がある人居企業の社員及び地元採用社員がサテライトオフィスの行うことである。



県政報告会開催(吉備公民館)

八月七日



県政報告会に多数の方にお越し下さり、耳を傾けていただき、御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の拡大、円安の進行、ウクライナ危機、台湾情勢の変化など、国を取り巻く環境は厳しさを増していることを報告するとともに、地域の河川の改修状況等を説明させて頂いた。



次ページへ続く

### 「広島市のバス等の料金の均一エリア拡大の取組」を調査

(広島市役所) 八月八日



広島市地域公共交通活性化協議会で、標記の取組を調査した。市内一定エリアの料金を統一しようとしているのは、広島電鉄、広島バスを

はじめとする交通事業者七社。市当局の説明によると、今秋、市中心部の路面電車と路線バス計七上路線の運賃を二二〇円に統一する方針のことだ。大半の路線で値上げとなる。ただ値上がりするだけでなく、各種割引制度も検討中であることも教えていただいた。まだ国のの方で議論も必要などことから、春の協議で決定したことから前に進んでいないとのことだ。

### 岡山県市長会からの提言書が

県当局・県議会に提出

(岡山県議会) 八月二十五日

来年度予算等についての要望を取りまとめた提言書を受理した。主要な要望は、  
・JR地方路線の維持への取組の強化  
・岡山県実施の公共事業における市町村の負担率の見直し  
・県北の狭隘な道路の改善  
・文化財行政への支援  
などであった。

その後、意見交換。私からは県立高校に対する意見を聞かせてほしいとの話をさせていただき、三人の市長からそれぞれの生の声を聞かせていただいた。その中で、地元出身の先生を配置してほしいとの意見をいただいた。

### ペット入場解禁

(岡山県総合グラウンド) 八月

岡山総合グラウンドではペットの散歩が禁止されていたが、今年の夏より、リードをつけてマナーを守っていただく条件付きでペットの入場が認められた。この件に関して、ペットを飼っておられる方から散歩させた時の話を聞かせていただいた。とても喜んでおられた。

気持ちよく利用していただくことが一番ですから、皆様、マナーを守っていただきますようお願いいたします。



### トマト独立ポット耕栽培を行っている農家を訪問

(吉備中央町) 八月二十七日



ミニトマトのビニールハウスを見せたいと、病原菌の侵入対策をしつかり行っていた。これほどまでにしなければならぬのだと感じた。また、生産している上での苦労を聞かせていただいていると、お一人でされていると知り、びっくりした。そして、百貨店にも出していることも知った。

### 大規模米農家を訪問

(吉備中央町) 八月二十七日



肥料の値上がりで頭を痛めていると話をつた。あらゆるものを活用しているが、それでも苦しい話であった。この話を聞いていくうちに、奨励種の話に移った。奨励種が少ないというのだ。県中部などでヒノヒカリに代わるものとして「きぬむすめ」が加えられているが、他県のことを持ち出しながら、もつと増やしてほしいと言われているのだ。農家がやる気になれるように要望の実現に取り組んで行く。

### JR伯備線高速化新幹線化促進三県議会協議役員会

並びに総会に参加

(松江市) 八月三十日

総会でJRが投入する新型車両の事業費や仕様を聞いた。事業概要は四十四両(四両×十一編成)、約一六〇億円。運行区間はもろのり岡山駅、出雲市駅である。どうしても気になるのが、揺れ方がどう変わるのかという点である。現行三三系は「自然振り子式」という車両構造。カーブで遠心力を利用して車体を傾け、高速走行を可能にしている。そのため揺れが大きく、乗り物酔いしやすい。それが今回変わるというのだ。最新技術により、今の揺れを制御可能としたというのだ。その方式を「車上型制御付自然振り子式」と呼ぶ。方法としては、路線の曲線データを車上の指令制御装置にあらかじめ入力しておき、走行地点に応じた最適の傾き角度で走行させること。その他の変更点として、デザインナーが入り、車両のデザインも変わり、車内は明るくなることになった。二〇二四年春以降の投入と聞き、早く乗ってみたいものだ。



### 岡山県・瀬戸内市 総合防災訓練

(牛窓中学校) 九月四日



消防、県警、自衛隊、総務委員、中国電力、民間企業など四十八団体四五〇人の参加と多くの住民の姿があった。この訓練に参加していた知人の話を聞いた。この訓練には、南海トラフが起きた時どうするか、こいつ訓練を通して体験し、災害時

に必要な知識を増やしておくこととはとても大切であり、今回の訓練はとても意義深いものであったと感じた。



### 私学の団体から

私学助成費の増額を求めた要望の提出がありました

(県議会) 九月五日

右記の要望を議長とともに受けた。私は以前に保護者会のメンバーとして要望側にもいたことがあり、岡山県が全国の中でどのような位置付けなのか知っているつもりであったが、あらためて数字を見せられると、次の言葉に話まわりました。  
岡山県庁も努力していただいていることは百も承知であるが、まだ四十位台を脱することはできない。改善するためには、岡山県の財政力をもっと強くすることが一番である。

### 十九時三十分から三十分間、ラジオ番組「PRESIDENT STATION OKAYAMA」に出演

(FMレディオモモ) 九月十八日

この「PRESIDENT STATION OKAYAMA」のパーソナリティは、株式会社Dointプランニング田中竜太郎さんと千道株式会社代表の加藤せい子さんが務めておられる。何故出ることになったかという、お二人と知り合いという単純な理由からである。この番組では、政治の道に入るきっかけ、どんなことをしたいのか、座右の銘は？、健康について等、思うところをそのまま話した。



### 二〇二二-二〇二三シーズン 岡山シーガルズ激励会

(岡山市内ホテル) 九月二十二日

来賓から試合環境、練習環境の話が出たが、踏み込んだ発言ではなかった。そして、その後の来賓から、先程は「意味深な発言」があったと断った上で、自分の地元とシーガルズとの関係の話がされた。プロスポーツは地元密着型に変わりつつある。岡山においても、プロスポーツが身近なものとなりつつある。



### 編集後記

〇〇記念日というのがよくありますが、点字ブロックの関係の会合で、記念日の話を聞く機会がありました。その中で耳に残ったのが、岡山に関係する記念日のこと。点字ブロックの日も登録されていて、点字ブロックの日が三月十八日です。他にはどんなものがあるのか続けて聞かせて下さいました。六月一日が岡山市民の日。それでは岡山県民の日はどうかという問いに「そうなんです。この日、一番にびっくりしたのが、吉備団子の日とかではなくて、「プリン」の日があるということでした。どうしてここでプリンの日が出てくるのかというと、もちろん岡山県に関係しているからです。その答えは後の楽しみとさせて置いて、プリンの記念日



### 第十四回安全狩猟射撃 中国・四国ブロック岡山県大会

九月二十五日



中四国九県から選手、役員百人が来岡。安全を第一にして、クレー射撃競技を行った。岡山県Aチームが優勝した。

第73代岡山県議会副議長  
**太田まさたか 県政報告会**のご案内  
 令和4年12月10日(土) 14:00~15:30(予定)  
 岡山国際交流センター 2F 国際会議場  
 岡山市北区奉還町2-2-1 TEL: 086-256-2905  
 内容: 岡山県政の課題、防災対策、コロナ後、その他  
 連絡先: 太田正孝事務所 岡山市北区延友 TEL: 086-201-5523  
 ※新型コロナウイルスの感染状況によっては入場制限や会の延期をすることもあります。

の制定理由をご存知でしょうか? プリンを食べた時にみなさんがどんな反応をするかに関係しています。想像をしてみてください。  
 答えが分かりましたでしょうか? 申請者は、食べると誰しもの顔がニコリすることから二十五日を記念日にして下さいと申し出られたそうで、それも毎月だったとのこと。それで毎月ニコニコできる日が二十五日、「プリンの日」となったというお話。  
 それではなぜ岡山に関係するのか? この疑問について、答えを明かします。実は申請者が焼きプリンを開発した岡山県の企業だったのです。これから二十五日には出来るだけプリンを食べて笑顔になりたいと思います。それで、二十五日は過ぎていきましたが、先日プリンを買って帰りました。(M・O)